



北大事務技術職員の給与水準はもはや公務員にあらず!?

～ 2024 年度賃上げ人勧不実施により給与格差が拡大 ～

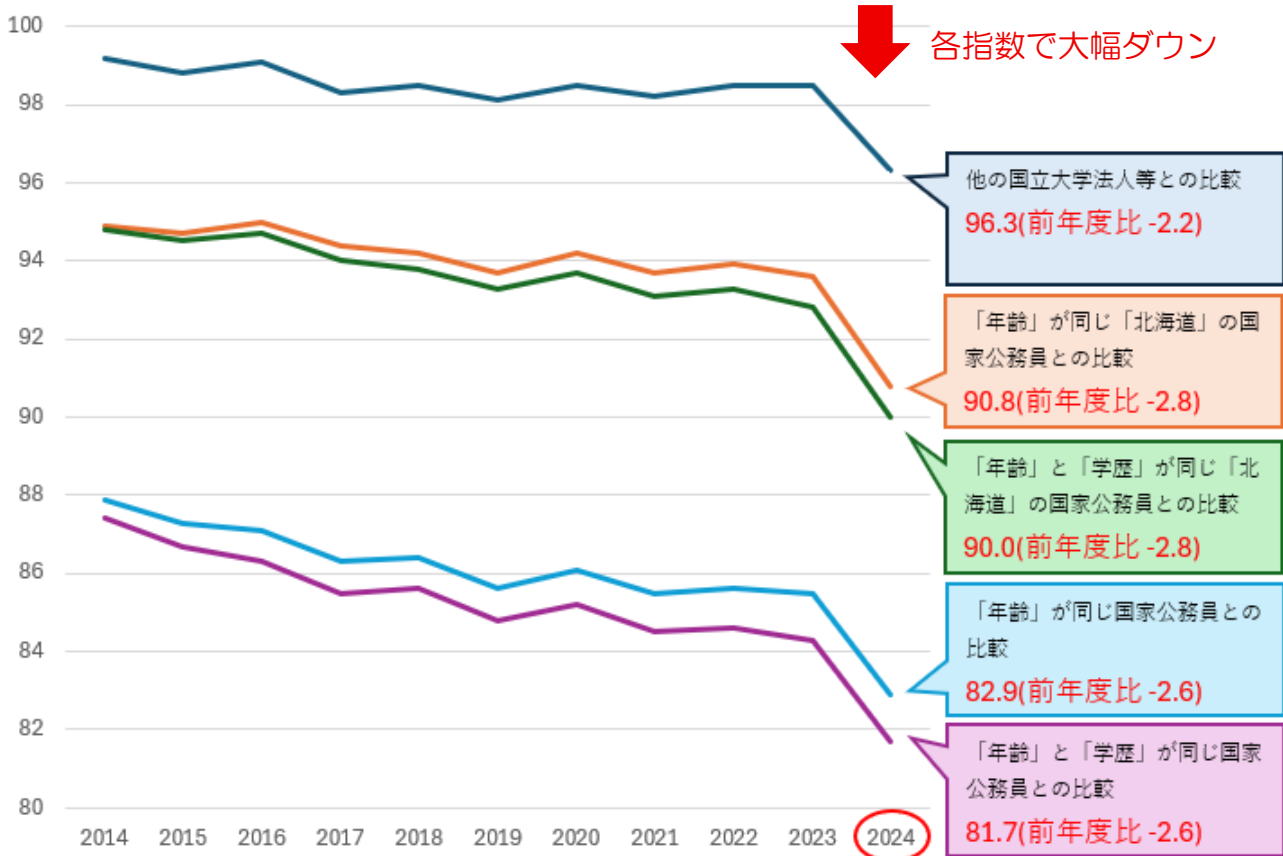
昨年冬からの機関誌で伝えているとおり、2024 年度の人事院勧告で国家公務員の給与水準の大幅な引き上げが勧告されたにも関わらず、北海道大学は 2024 年度にこの引き上げを実施せず、実施時期は 2025 年度からとしました。この決定による本学の事務職員・技術職員の給与水準の相対的な低下を組合はかねてより懸念していましたが、今回、北大が公表した「[役職員の報酬・給与等について（令和6年度）](#)」の公表により、それが実際の数値となって現れる結果となりました。

下記の図は、日本の国家公務員の給与が「100」である時に北大の正規事務職員・技術職員の給与がいくらになるかを、「同じ年齢」「同じ学歴」「同じ勤務地」等の条件で出した「ラスパイレス指数」と呼ばれるもので、この数値は毎年度公表されます。これまでも北大のこの数値は低かったですが、2024 年度に過去にないレベルで一気に下がっていることが容易に見て取れます。

ラスパイレス指数は「国家公務員」との比較ですが、その「国家公務員」の給与水準は民間給与水準と同じになるように設定されるため、今回の数値の低下は北海道大学職員の給与水準が民間給与水準と比べても相対的に低下したことも意味します。

年配の正規職員なら「法人化しても給与は国家公務員と同じ」と考えていた時期があったかも知れませんが、もはや北海道大学の給与は「国家公務員と同じ」とは到底言えなくなっています。

北海道大学の「事務・技術職員」の給与水準
(国家公務員を「100」とした場合のラスパイレス指数)



具体的にどれくらいの給与の開きがあるのか？

ラスパイレス指数での比較はピンと来ないかも知れないので仮にあなたが「44 歳」「4 年制大学卒業」の北海道大学事務職員で 2024 年度の年収が「**600 万円**」だと仮定します。この場合…

「同じ条件」の「**他の国立大学法人等の職員**」の平均年収は「**623 万円**」

「同じ年齢」で「**同じく北海道勤務**」の「**国家公務員（学歴問わず）**」の平均年収は「**660 万円**」

「同じ年齢」で「**同じく4大卒**」で「**同じく北海道勤務**」の「**国家公務員**」の平均年収は「**667 万円**」

「同じ年齢」の「**国家公務員（学歴と勤務地問わず）**」の平均年収は「**723 万円**」

「同じ年齢」で「**同じく4大卒**」の「**国家公務員（勤務地問わず）**」の平均年収は「**734 万円**」

となります（ただしラスパイレス指数は「全ての年齢層」の合算なので「44 歳」の年齢層がこの数値通りにはならない可能性はあります）。国家公務員の給与は民間給与水準を反映させている前提なので、上の文書の「国家公務員」を「民間企業従業員」に書き換えても同じになる前提です。

2024 年度に限定しなくても、「正規職員だから給与は自動的に公務員並みに上がる。賃上げなど求めなくても良い。」と考える時代は残念ながらとくに終わっています。国家公務員や民間企業どころか、他の国立大学法人と比べても低位となってしまった給与水準を改善させるために、組合は今一度、**教職員に労働組合への参加を呼びかけます。**（書記長・岡坂）

総長選日程公表される・公開質問の準備を開始

項目	期日
候補者の推薦届出開始	令和7年6月30日（月）
候補者の推薦届出及び所見等提出期限	令和7年7月31日（木）
候補者名の公表	令和7年8月1日（金）
意向聴取対象者から候補者への質問の募集	令和7年8月5日（火） ～ 令和7年8月8日（金）
候補者への事務説明会	令和7年8月6日（水）
公開質疑（意向聴取対象者向け）	令和7年10月20日（月）
意向聴取（オンライン実施）	令和7年10月29日（水） ～ 令和7年11月4日（火）
選考会議による総長候補者へのヒアリング	※スケジュール決定後通知
選考会議による総長予定者の決定	※スケジュール決定後通知

（[北大が公開した選考日程](#)）



2026（令和8）年3月31日で任期満了となる現 實金総長の後任の総長選考の日程が北大から公表されました。現状で複数の立候補者ができるのか、それとも實金総長が再任される流れとなるのかは不明ですが、組合では今回も「公開質問」により次期総長候補者の意向を確かめる準備を進めています。

この公開質問作りは前回の質問をベースにして執行部が作成する予定ですが、組合員からの意見も募って作成する予定です。詳しくは意見公募のメールにより通知する予定ですので、ぜひご意見をお寄せください。（書記長・岡坂）

【参考：前回 2020 年 8 月の[公開質問事項](#)】

1. 総長解任過程の検証について
2. 総長選考方法の変更について
3. 新型コロナウイルス感染症への対応に伴う教職員の働き方について
4. 職員の時間外労働について
5. 非正規雇用職員の労働条件について
6. 教員人件費の運用などについて
7. 軍学共同について
8. 北海道大学の歴史とこれからについて

← 2020 年公開質問書

7月12日開催 全大教第58回定期大会報告

7月12日に全大教大会がオンラインで開催され、北海道大学選出の代議員として出席しました。全大教は全国の国立大学・高専・研究機関の職組から構成される労働組合の連合会です。決算報告、次年度の運動方針と予算が承認され、次期役員体制も確立されました。北大職組関係では、教育学部班の光本組合員が中央執行副委員長に選出されました。選出単組として光本副委員長を支援していきます。また、全大教北海道は、全大教から少なくない活動支援を受けていますので、今後ま

すます地区活動にも力を入れて行く必要があります。

最も印象に残ったことは全大教中央執行委員の立候補者が定員数を超えて、競争選挙になったことです。選管に確認したところ競争選挙はめずらしくないそうです。内部での活発な議論が感じられ、今後は中執の動向を注視していこうと考えています。

(文責：清水池)

人事院の問題意識と公務員の願いに根本的なズレがある 地方の声を霞ヶ関に反映させよ！

～7.9「北海道公務共闘 2025 年夏季重点要求書」を提出～

道公務共闘は、7月9日（水）人事院北海道事務局に対し、「北海道公務共闘 2025 年夏季重点要求書」を提出し人事院勧告に向けた交渉を実施しました。冒頭尾張議長から、「勧告は大詰めの段階に来ていると思うが、地方や現場の声をぜひ本院に届けていただきたい。昨年の勧告に



要求書を手渡す尾張議長

よる給与のアップデートは現場の願いと根本的なズレがある。中高年層の給与抑制、人事評価のさらなる強化、民間調査の比較企業規模の格差など900万人の労働者に与える大きい。」とし、「賃金の地域間、世代間格差は更に広がっている。その見直しが必要。自動車通勤が多い北海道ではその改善要求が大きい。寒冷地手当の根室の級地引き下げはあまりにも機械的すぎるため元に戻すこと。特殊勤務手当と非常勤職員の処遇改善、60歳超の職員の処遇改善」などの要求主旨が述べられました。

その後各単産から発言があり、全大教北海道から参加した大島幹事の発言要旨は以下の通りです。

5月の勤労統計調査は実質賃金－2.9%であ

り、5か月連続のマイナスとなっている。これでは実質賃金を下回った勧告しか出ないのではないかと懸念される。中堅層職員の賃金が、若年層と逆転する不満が出ている。大学では技術系職員が集まらない。民間の賃金が高いため、募集をかけても来ない。そして中途退職が増えていることへの対策を考えて欲しい。人手不足の中高年層職員の利活用に関して、民間では進みつつある。定年延長で賃金7割になる公務員と乖離している。寒冷地手当の級地については、メッシュデータだけの数値結果は現実を表していない。根室については風の要素を加えたデータを考えて欲しい。通勤手当も新幹線利用で15万円を上限とするならば、自家用車の上限3.1万円とのえらい差を考え直して欲しい。駐車場料金も自己負担であり、これらを何とかして欲しい。

亀田総務課長からは「現場の発言を聞くことができ大変有意義だった。みなさんとは立場が違うが情勢適用の原則があり、各方面からの意見を聞きながら検討したい。」との回答がありました。

尾張議長は「地方の声を霞ヶ関に届け、反映させる数少ないルートである。地方も視野に入れた勧告をお願いしたい。寒冷地のことなど、北海道事務局が声を上げなければ届かない。ぜひそういった努力をお願いしたい」と述べ、交渉は終了しました。

(書記局・大島)

理学部「追い出し部屋」問題について

本学理学研究院化学部門が、教授不在となった研究室に所属する複数教員を「旧スタッフ」と呼び、居室移動や学生不配置、研究室業務からの疎外を組織的に行っていた「追い出し部屋」問題に新たな動きがありました。職組は、この問題について2024年に質問書と要望書を相次いで提出し、大学に事実関係の確認や適切な対応を求めてきたところです。

6月25日付毎日新聞によれば、今年6月までに「旧スタッフ」4名のうち3名の准教授が独立した研究室運営を開始するとともに学生も配

属されたと、化学部門がウェブサイトで公表しました。職組としては状況に一定の改善があったと評価するとともに、関係者の尽力に感謝の意を表します。ただし、残る1名の状況や状況が改善した3名の詳細を把握できていません。加えて、今回の「追い出し部屋」問題に至った組織的な総括や大学として関係者に謝罪や補償を行うことが求められます。問題の全面解決に向け、職組は引き続き、事態を注視していきます。

(執行委員長 清水池義治)

定期大会迫る！懇親会へもご参加を！

今年度定期大会の実施が7月26日(土)に迫ってきました。「議案書の配布」「役員選挙の実施」「代議員の選出」と今のところスムーズに進んでいる大会準備ですが、コロナ禍でしばらくオンライン開催していた定期大会の、久々のリアル会場準備(ただしオンライン参加も可能)のため、執行部としてはここ数年とは異なる大会準備に少々てこずるシーンもありました。オンライン開催は便利ですが、一方で「議論の場の空気」というものが伝わりにくいデメリットもあるのではと思います。自分を含め(執行部を5年もやっているのに定期大会のリアル開催は初めてです！)リアル開催を初めて経験する組合員もいると思いますので、北大職組の組合活動の雰囲気を感じていただければと思います。

また毎年恒例ですが、大会の後の懇親会も17時から「生ソーセージバル LECKER(レッカー)」行いますので、どうぞご参加ください。代議員以外の方も参加可能で、会費は2000円です。



(書記長・岡坂)

懇親会のお知らせ



今年も定期大会終了後に懇親会を開催します！
大会代議員の方はもちろん、組合員の方であればどなたでも参加できます！

日時：7月26日(土) 17時00分くらいから2時頃
場所：生ソーセージバル LECKER(レッカー) 札幌フコク生命ビル店
(札幌市中央区北2条西3丁目 札幌フコク生命越山ビル)
会費：一人2,000円
申込：7月24日(木)までに下記から申し込むか、
書記局にメールか電話で連絡ください。



●お申込みフォーム：<https://forms.gle/xUNRF7dmpRFENDfTx6>
●組合連絡先：kumia@hokudai-shokuso.sakura.ne.jp

組合員を増やし、労働条件・職場環境改善を進めましょう